

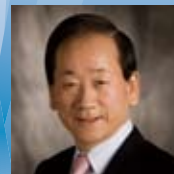


ROTARY CLUB OF NAGOYA MEINAN

URL <http://www.meinan-rotary.com>

E-mail [info@meinan-rotary.com](mailto:info@meinan-rotary.com)

# WEEKLY REPORT



2008-2009 RI会長  
リー・ドンカン氏(韓国)

■承認/1991年3月8日

■例会日/火曜日・PM6:30

■例会場/名古屋マリオットアソシアホテル

■事務局/〒450-6002 名古屋市中村区名駅1丁目1番4号

名古屋マリオットアソシアホテル2202号

TEL.052-586-2043 FAX.052-586-2054

■会長/川辺 清次

■幹事/鈴木 清詞

■会報委員長/田中 省三

## ガバナー公式訪問日

### 第832回

2008年9月16日(火) 晴 第11回

～新世代のための月間～

斉唱 我等の生業  
出席 会員70名(出席率算入人数68名)  
出席57名 出席率83.82%  
前々回補填率92.31%(9月2日分)

#### ゲスト

RI第2760地区 ガバナー 片山 主水氏

RI第2760地区 地区筆頭副幹事 佐久間貞介氏

### ◆会長あいさつ◆

会長 川辺 清次さん

本日は片山主水ガバナー、そして地区筆頭副幹事の佐久間貞介さんをお招きしております。単独でガバナー訪問を受けたのは11年振りだそうです。いつも、南RCさん、東南RCさん、瑞穂RCさんと合同ということでしたが、11年振りに単独でガバナー訪問を受けることができました。



4時から会長・幹事懇談会、先ほどまでクラブアッセンブリーをさせていただきました。会長・幹事懇談会ではわが名南RCの定款・細則のことで指摘を受けました。クラブアッセンブリーでは、いつものとおり委員会報告をさせていただきました。痛感するのは、17年たつて我々名南RCは2760地区の81RCの中では新参者でありますけれども、どうも組織的な老化現象が起きている。活性化しなければならぬということをつくづく感じました。それには、やはり会員増強だと思います。特に、若いかたの会員増強をお願いしたい。去年、2RCで東南RCと合同で例会を開いたときに、東南さんの雰囲気ガラッと変わったことは、皆さんも印象に残っていると思います。

我々も東南さんにならって、純増10名という目標を掲げました。なんとかそれを達成して、名南RC20周年に向けて活性化して、ますます内容の充実したロータリーにしたいと痛感いたしました。スローガンを挙げて、もう2か月半がたちました。なかなか会員増強はうまくいっていません。この場を借りまして、ぜひお友達、取引先等々、まずは例会に出てきていただきまして、この雰囲気を味わっていただき、入会にこぎつけ

たいと思っております。

ガバナーも、筆頭副幹事さんも、親クラブでございますので、非常に和気あいあい、しかし親しき仲にも礼儀ありというようなことで始めさせていただいたつもりでございます。ガバナーに卓話をいただいて、質疑等ありましたら忌憚のない意見を言っていただいて、風通しのいい雰囲気にしたいなと思っておりますのでよろしくお願いたします。

### ◆幹事報告◆

幹事 鈴木 清詞さん

1. 9月23日は秋分の日でお休みになります。

### ◆ニコボックス◆

\* 過分にご協力いただきました。

RI第2760地区 ガバナー 片山 主水さん

RI第2760地区 地区筆頭副幹事 佐久間貞介さん

\* 片山主水ガバナー、佐久間貞介地区筆頭副幹事をお迎えして。

大隅 紀郎さん	浅井 浩さん	野々村憲吾さん
林 隆二さん	鈴木 厚司さん	森田敏二さん
山本 郁矢さん	堀田 光江さん	長尾 浅吉さん
武藤 正行さん	新原 尚さん	安藤 鉄一さん
大橋さなえさん	榊原 和美さん	朝比美和子さん
佐々木 眞さん	伊藤 圭一さん	山崎 淳さん
三浦 和人さん	伊藤 博昭さん	菊岡深智子さん
鈴井 一博さん	三島多恵子さん	白藤 憲雄さん
水谷 誠さん	江村 雅夫さん	小山 慎介さん
中村 勝さん	生野 房江さん	中西 芳子さん
犬飼りさ枝さん	川辺 清次さん	小野 雅之さん
坂本 晃さん	鈴木 清詞さん	小澤 久隼さん
久米 伸治さん	児島 徳和さん	加藤 宜之さん
杉山 隆秀さん	猪村 美之さん	江上 隆夫さん
林 正人さん	鈴木 享さん	

\* 片山ガバナー、佐久間地区筆頭副幹事をお迎えしたこと、先週行われた当クラブゴルフ会で自身3度目のホールインワンを達成し、優勝出来た喜びをニコボックスへ入れさせていただきます。同伴して頂いた野々村さん、小野さん、ありがとうございました。

山本 誠一さん

\* 山本誠一さん、名南RC部会コンペ初のホールインワンおめでとうございます。

小野 雅之さん 川村 繁生さん 児島 徳和さん

### 第834回例会(10月3、4日)のご案内

秋の家族会 於：山梨県 鐘山温泉

\* 20日～26日まで動物愛護週間です。ペットの生命と安全を守る環境に愛情をそそぎたいと思います。

三浦 隆さん

本日合計 74,000円 累計 523,000円

## ◆委員会報告◆

●親睦活動・家族委員会 委員 堀田 光江さん

10月3日、4日の旅行は、テレビ塔のバスの発着所に9時45分集合です。

## ◆ガバナー卓話◆

●RI第2760地区 ガバナー 片山 主水さん

今日は私が入会以来思っている思いのたけをちょっと申し上げたいと思います。



まず、その前に重要なお願い事項の核心部分だけ触れます。1つ目は、ゲイツ財団のポリオチャレンジについて。各会員当たり、1年間1,000円を3年間ご協力ください。2つ目は会員増強について。会員増強は、実は世界の趨勢は120万人を少し割ったあとはずっと微増なんです。主として日本の下がり方が随分と急でして、日本に特有な現象ということでありまして。地区のほうでは「チャレンジ6,000」ということで3年間で6,000名の会員数を目標としております。3つ目は、地区大会が11月15、16日にありますので全員登録でご協力をお願いします。4つ目は、地区史の購入です。10月に出版の予定で、1冊2,000円ですので、ぜひともご購入をいただきたく思います。5つ目は、来年の6月に国際大会がイギリスのバーミンガムで開催されます。実行委員長は日本の田中元理事です。無理のないところで大会開会式と本会議のRI会長スピーチ、日本人朝食会と、分科会1つをぜひスケジュールの中に組み込んでいただきたく思います。

もう1つ、地区方針についてお話しします。ガバナーの地区方針は「持続可能な前進」です。世界を憂いているいろいろなことを献策する「ローマクラブ」が、1972年に「成長の限界」というショッキングな報告書を出しました。これは「将来的な世界人口の爆発的な増加と経済の急激な拡大は、食料生産・天然資源埋蔵量に対して無制限ではありえず、成長には限界がありこれら諸要素の負の遺産である地球環境の悪化は、このままではさほど遠くない時期に人類を死滅に至らせるであろう」と警鐘を鳴らすものでした。この警鐘は全世界の人々に、世界人口の爆発的な増加と経済の急激な拡大、食料生産・天然資源の有限性、地球環境への影響、こういった項目に注意するように呼びかけただけでなく、無策な世界の為政者に目を向けさせ、地球規模の対策を呼びかけるとともに、全世界の企業と人々に欲望の自制を呼びかけたものでした。その後、リオデジャネイロの地球サミット等の間に「持続可能な」ということが言われるようになりました。「持続可能な前進!!」はこれから取ったものです。

私は三十何年ロータリーとつきあっておりますが、私がガバナーからこういう話を聞きたいなあと思っていることは、なかなか聞かせてもらえませんでした。とうとう聞かずに、自分がガバナーになってしまいましたので、自分が聞きたかったことを皆さんにお話ししたいと思えます。

「調和の奉仕」と言いますが、それは奉仕の中で各奉仕をバランスよく行うこと、また、奉仕と奉仕活動以外のロータリー活動とをバランスよく行うという意味です。

皆さんご存じの通り、ロータリーの奉仕には「超我の奉仕」の理念に基づく社会奉仕といわれる奉仕の分野があります。社会的弱者に対する救済を主とした人道的奉仕・次世代育成活動などの分野です。また、これとは異なる考え方で、最もいい奉仕をする者、最も多く報われるという考え方による職業奉仕があります。最良奉仕の最多果報という考え・理論による奉仕の分野です。自分も人様も利益になる両利の奉仕「彼我の奉仕」と言うこともできます。この2種類の奉仕分野の他に私はもう1つの奉仕の分野があるのではないかと考えています。昔から、「修身齊家治国平天下」と言いますが、ロータリーにおいて奉仕をしようというならば、まず自分の身を修めるべきではないかと思うのです。ロータリーもロータリアンも、社会奉仕、職業奉仕とともに人間向上を目的にしなければならないと思っています。専ら自分個人のために努力を傾ける奉仕、「唯我の奉仕」。超我の奉仕、彼我の奉仕、唯我の奉仕、奉仕には三つの分野があります。職業奉仕である彼我の奉仕がなぜ真ん中にくるのかと言いますと、それはロータリーが職業分類を持っておりまして、全員の人が職業を持っているという点や、あるいは職業というものが社会と個人をつなぐ、一番太いものということからです。社会奉仕、職業奉仕、自己奉仕、その三つをバランスよくロータリーの中でやってくださいというのが、調和の奉仕の一つであります。

調和の奉仕のもう一つは奉仕と親睦との調和です。ロータリーソングに「我等の生業」という歌があります。「我等の生業さまざまなれど 集いて図る心は一つ」職業は多様だけれども、集いて図る心は一樣ですよ、「求むるところは平和親睦 力むるところは向上奉仕」求むるところは心の平安と親睦、努めるところ、義務としてやらなければならないのは人間の向上、人格を磨くこと、それと奉仕だと言っております。実にロータリーの核心をついております。「平和親睦」というのは、心の平安と親睦ということです。心の平安は自分自身のこと、親睦は人と人とのつながりのことです。向上奉仕の向上は、自分自身の向上のことを言っています。奉仕は他人にするものですが、やはり人と人との間。「平和親睦、向上奉仕」は対句になっております。これは1935年の歌ですが、奉仕と親睦が非常に重要だということ、そんなところからきちんと押さえているのです。

もう一つ言いたいのは、親睦と奉仕はどういう関係かということです。これも結論だけ言いますと、奉仕というのは、車で言うと両輪に例えられますけれども、両輪のうち、これは前輪の両輪。親睦というのは後輪の両輪。後輪のほうはエンジンに直結してますから、活力を生み出します。奉仕のほうはハンドルに直結しておりますから、ロータリーを目的まできちんと導いてくれる。そういう関係だと理解するのが一番いいのではないのでしょうか。どちらが欠けてもロータリーは成り立ちません。けれども、もう一つ、親睦も目的じゃありませんかという人がいるんですけども、親睦は目的じゃないでしょう。奉仕は目的ですけども。親睦は苦しいですか？ 目的なんていうものは、大体苦しいものですが、親睦は楽しいものです。目的と目的じゃないものとは、それだけの違いがあります。だから、親睦は目的にはなりえないというのが結論です。

ロータリーの目的は奉仕であり、奉仕は親睦から生まれ、親睦は出席より始まります。奉仕の下に親睦・友情があり、そのまた不可欠の前提として、例会・行事への出席・参加があるという図が描けると私は思います。皆さんも一度自分の思うロータリーの姿を描いてみてください。